

2021年3月期 業績予想説明資料 (第1四半期決算を踏まえて)

2020年8月7日



内外テック株式会社
JASDAQ3374

2021年3月期 第1四半期 実績

前年同期比 大幅増収増益を達成

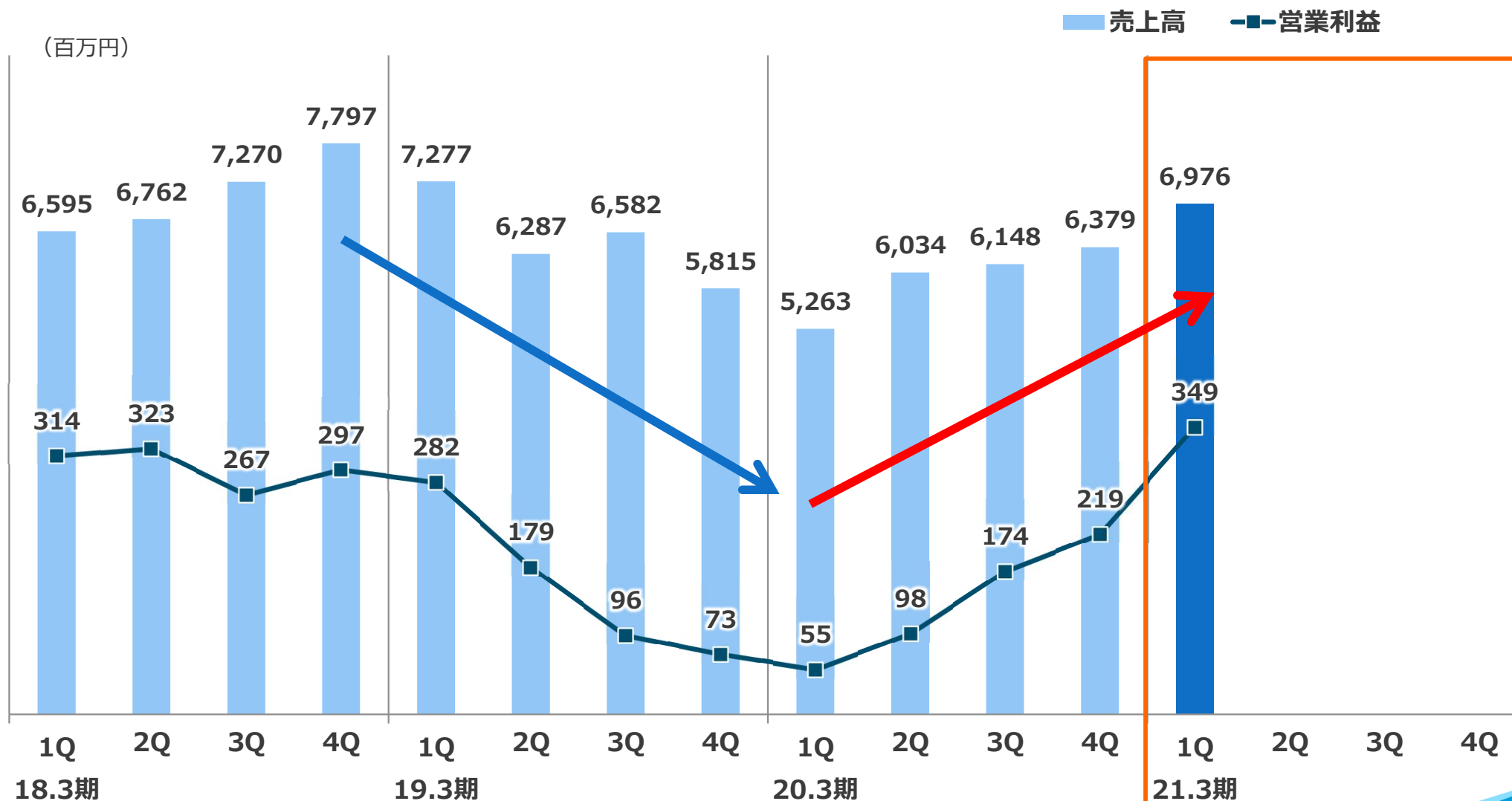
(百万円、%)

	2020.3期 1Q			2021.3期 1Q		
	実績	前年同期比	構成比	実績	前年同期比	構成比
売上高	5,263	△27.7	100.0	6,976	32.5	100.0
売上原価	4,690	△27.2	89.1	6,102	30.1	87.5
販管費	516	△6.6	9.8	525	1.6	7.5
営業利益	55	△80.2	1.1	349	6.2倍	5.0
経常利益	56	△79.8	1.1	348	6.2倍	5.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8	△95.0	0.2	208	25.4倍	3.0

- 売上高は、テレワーク、オンライン授業等によるデータ通信量の増加を背景に、前期からの堅調なロジック向け投資に加え、メモリ向け投資も回復により、大きく増加。
- 販管費は、新型コロナウイルス感染症対策に係る一時的な増加があるも、効率化の推進によりほぼ前年同期並みに。
- 利益は、増収効果により大幅増。

売上高・営業利益（四半期ベース）の推移

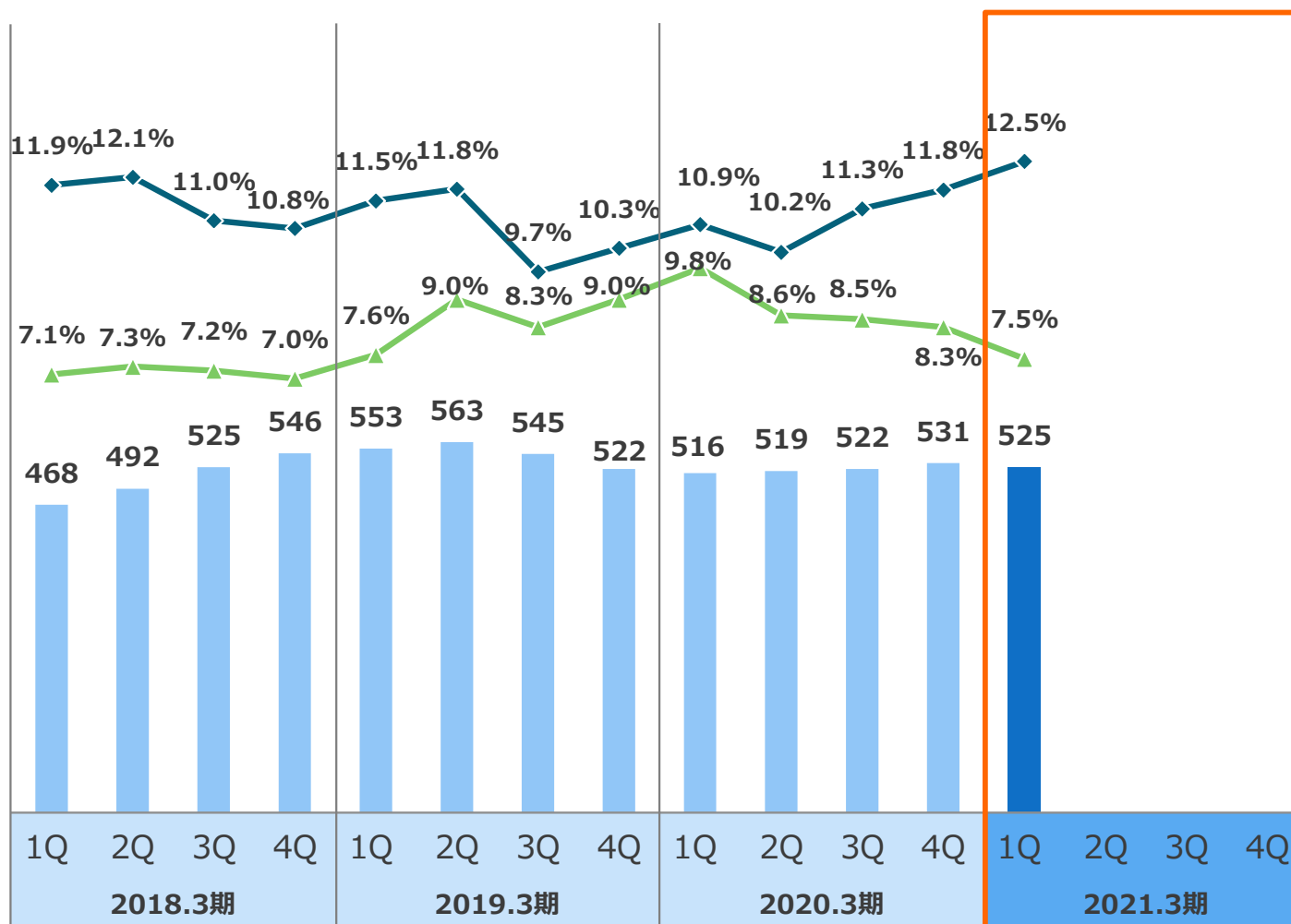
売上高・営業利益ともに、前1Qをボトムに上昇基調



売上総利益率・販管費（四半期ベース）の推移

売上総利益率は、近年最高値を達成 販管費は、一定水準で推移

(百万円) ■ 販管費 ◆ 売上総利益率 ▲ 販管費率



売上総利益率

- 引き続き上昇傾向。
- 受託製造事業での最適な生産体制により売上総利益率は大きく上昇。

販管費

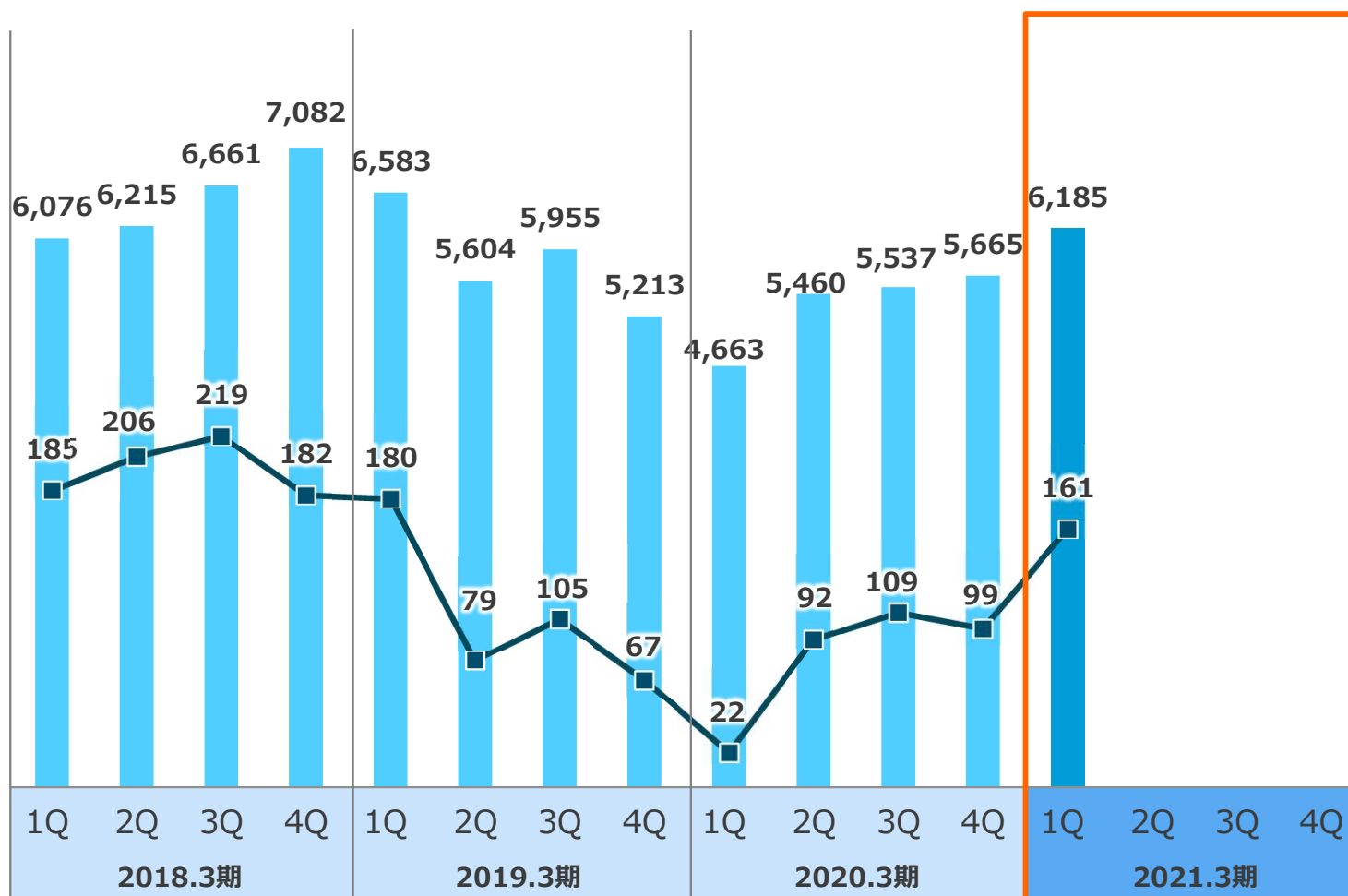
- 効率化の推進により販管費率低下。

前年同期比 増収増益

セグメント売上高・利益ともに前1Qをボトムに上昇基調

(百万円)

■ セグメント売上高 ■ セグメント利益



セグメント売上高

前年同期比 32.6% ↗

- 新型コロナウイルス感染症の影響によるサプライチェーン寸断に備えた得意先の在庫確保による売上が大きく寄与。
- テレワーク・ビデオ会議等のクラウドサービスの需要拡大によりデータセンター投資の活発化を受けて、ロジック向け投資に加え、メモリ向け投資の回復による売上増。

セグメント利益

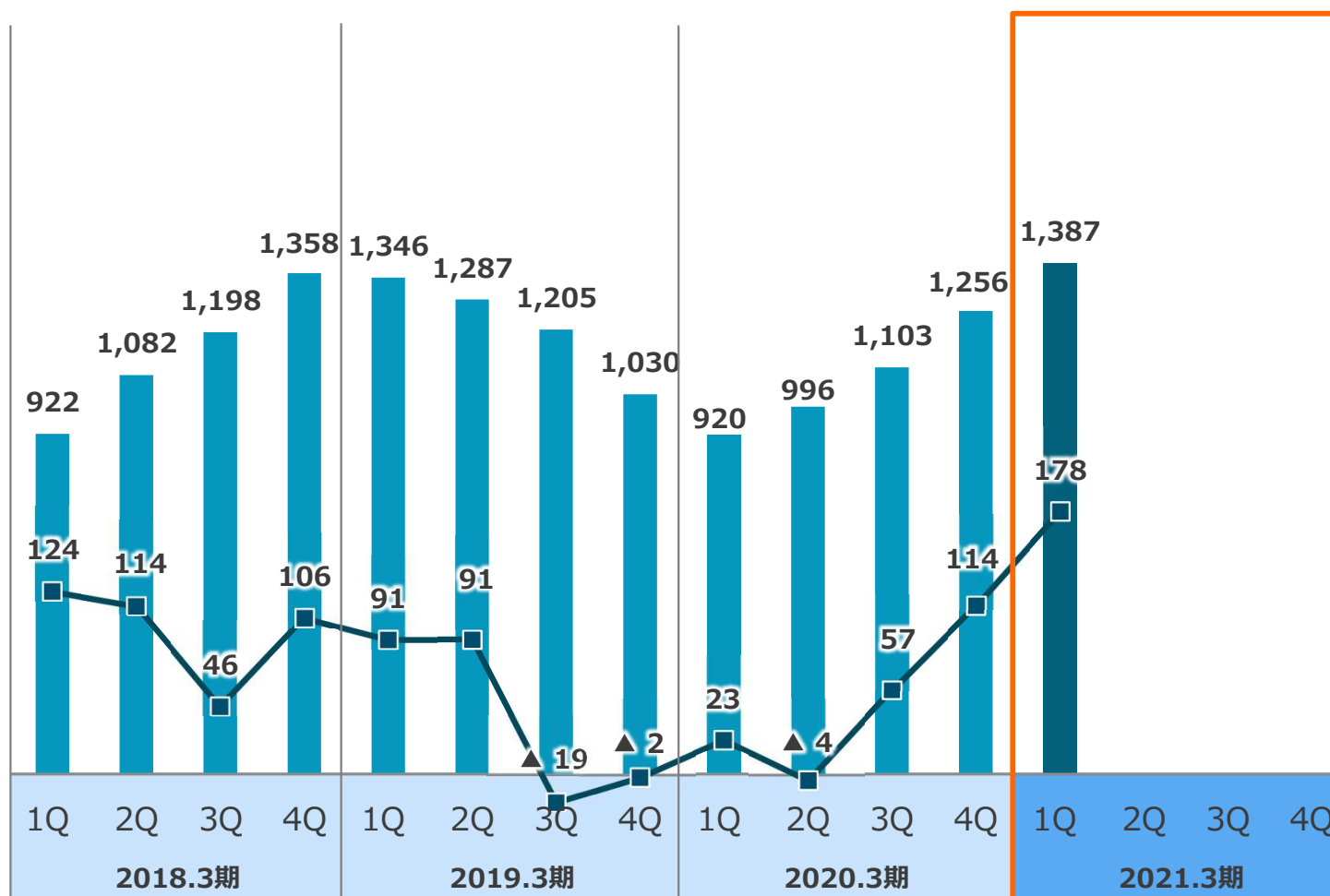
前年同期比 7.1倍 ↗

- 売上高増加に伴いセグメント利益増加。

前年同期比 増収増益 セグメント売上高・利益ともに過去最高に

(百万円)

■ セグメント売上高 ■ セグメント利益



セグメント売上高
前年同期比 **50.8%** 

- 主要顧客の増産により回復傾向。
- 生産体制の更なる改善による製造能力向上により増収。

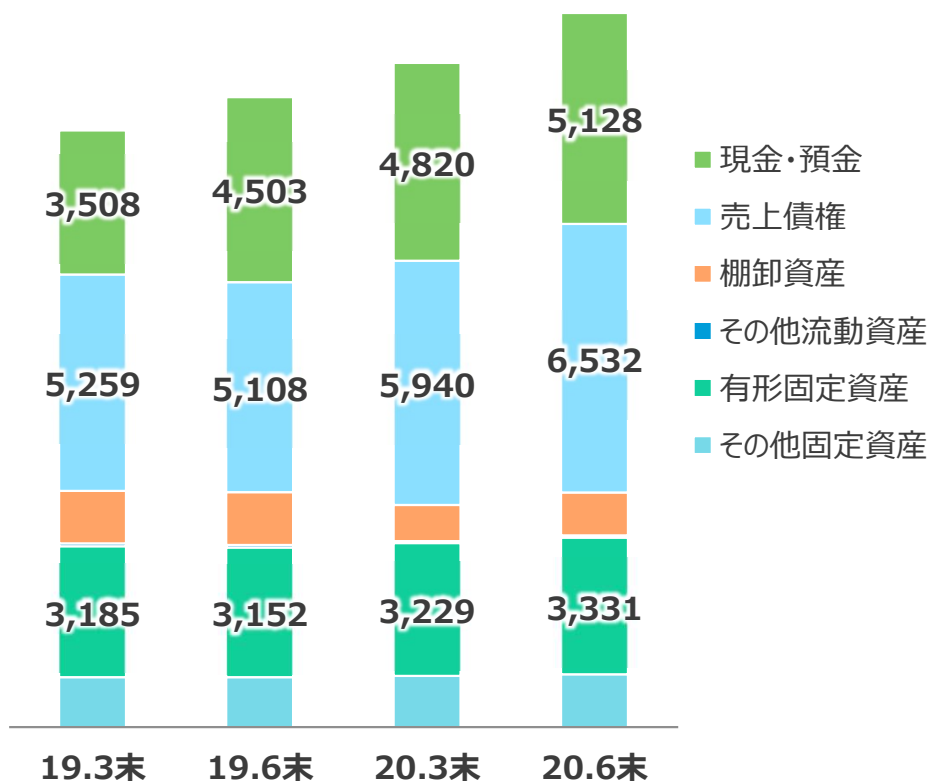
セグメント利益
前年同期比 **7.5倍** 

- 売上増加、生産効率の改善から大きく上昇。

貸借対照表

◆ 資産

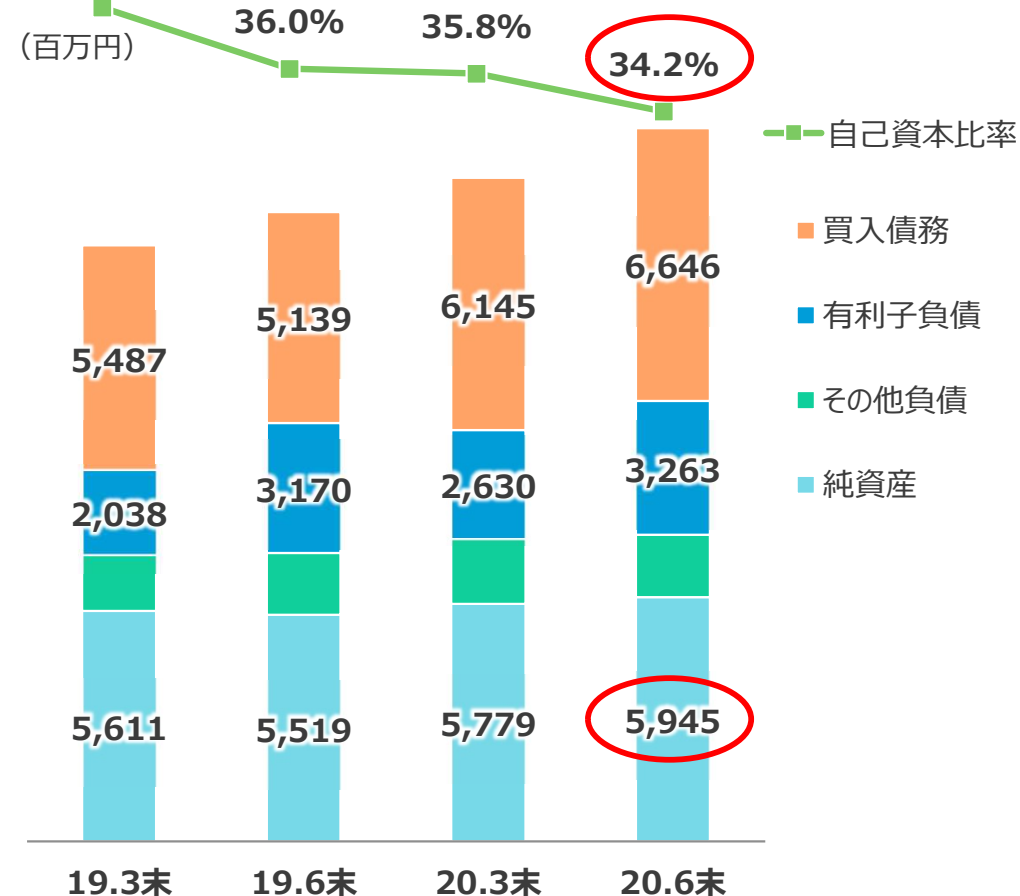
(百万円)



- 新型コロナウイルス感染症拡大リスクに備え、借入金により現金・預金を確保。
- 売上高の上昇局面につき、売上債権が5億92百万円増加。
- 新宮城物流センター建設中につき、建設仮勘定が1億34百万円増加。(9月竣工予定)

◆ 負債・純資産

38.6%
(百万円)

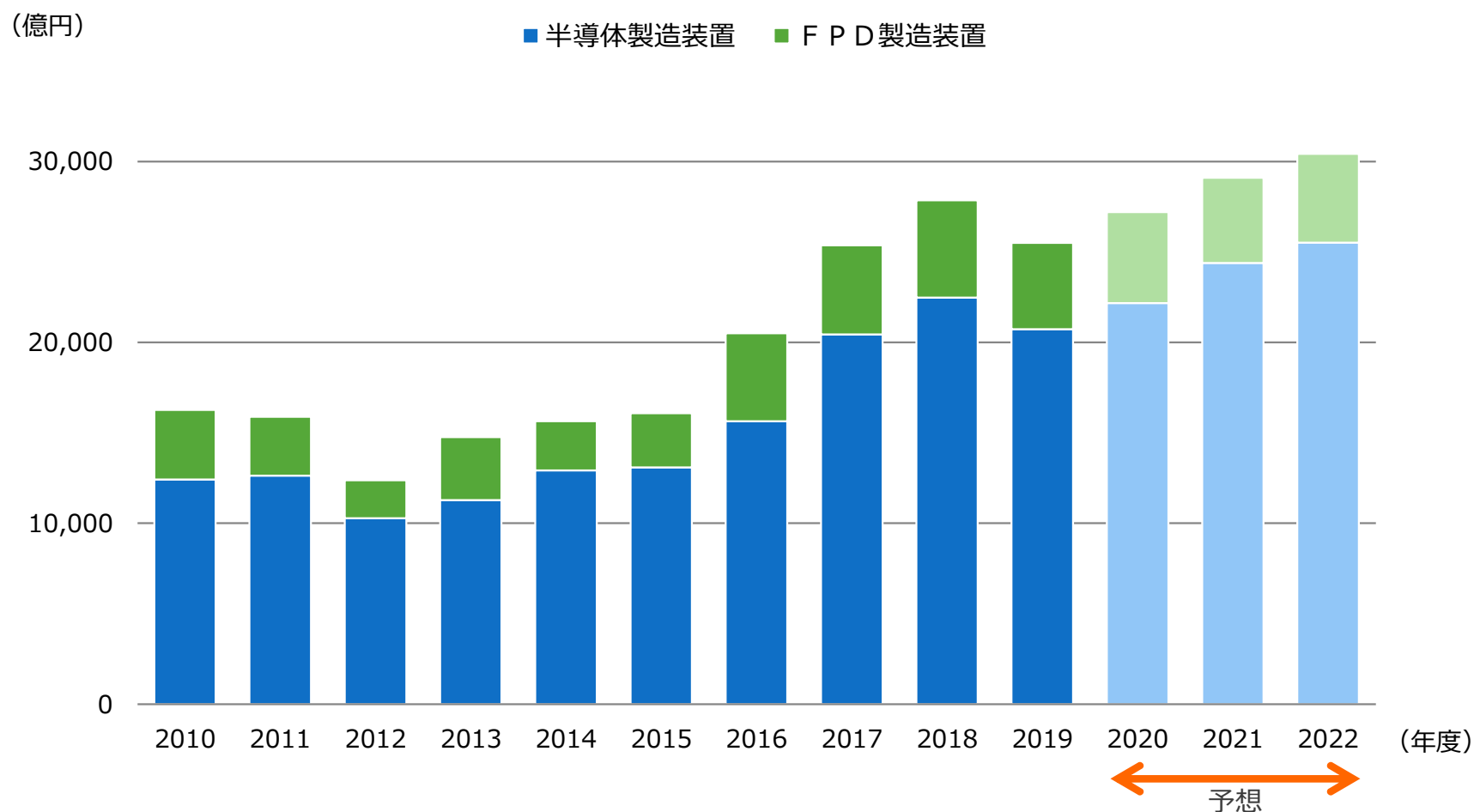


- 有利子負債が6億32百万円増加し、自己資本比率は34.2%に低下。
- 仕入高上昇に伴い、買入債務が5億円増加。
- 利益剰余金が1億24百万円増加し、純資産は1億65百万円増加。

2021年3月期 予想

今後も拡大が見込まれる日本製半導体製造装置販売高

半導体・FPD装置 日本製装置販売高予想



(SEAJ 2020年7月2日発表資料をもとに作成)

半導体製造装置市場の回復予想により、増収増益を見込む

～新型コロナウイルス感染症の急激な再拡大がなく制御されることが前提～

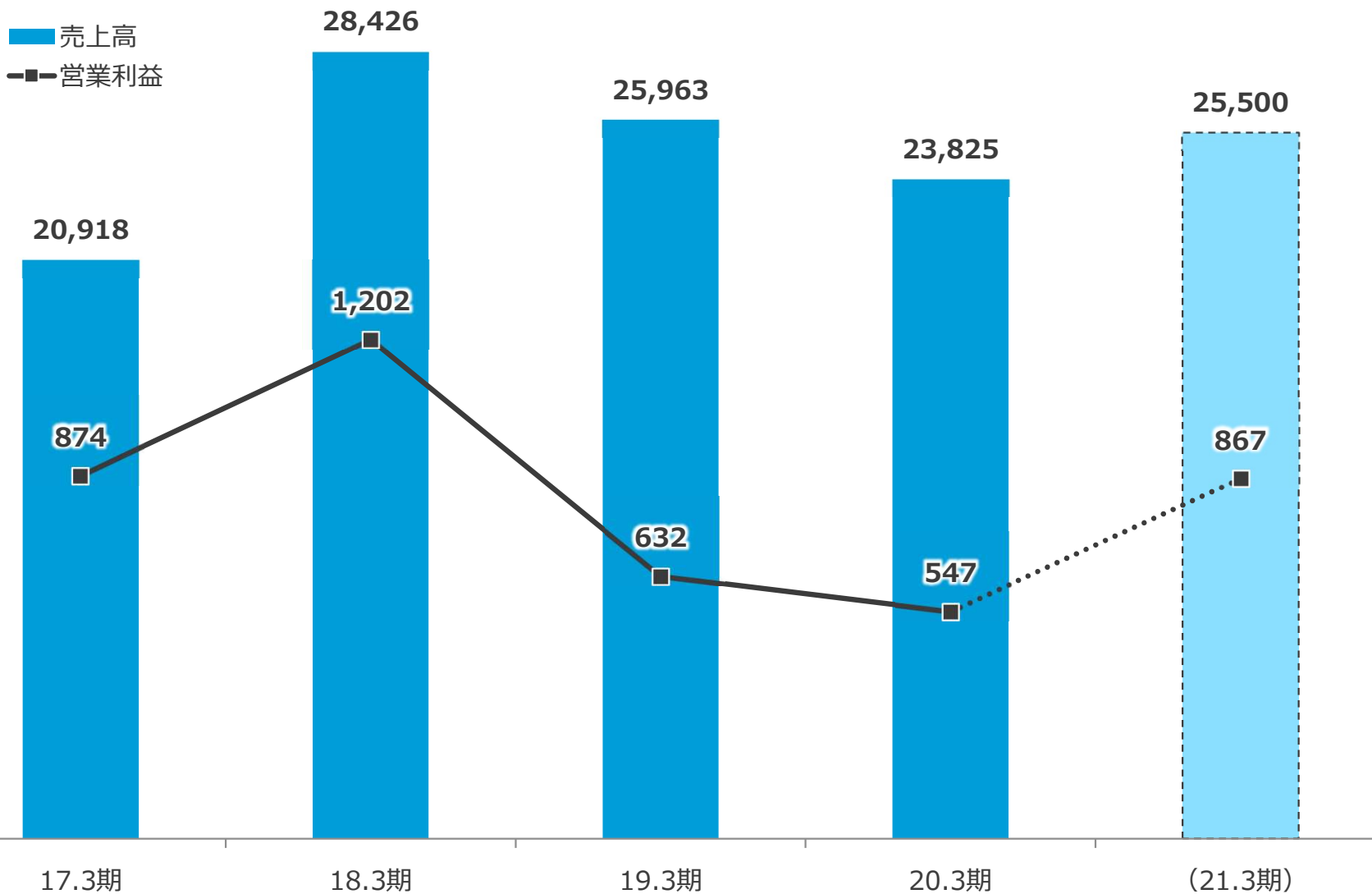
(百万円、%)

	2020.3期			2021.3期				
	実績	前期比	構成比	予想	前期比	構成比	2Q累計	前年同期比
売上高	23,825	△8.2	100.0	25,500	7.0	100.0	12,500	10.6
営業利益	547	△13.3	2.3	867	58.2	3.4	415	2.7倍
経常利益	533	△14.1	2.2	850	59.2	3.3	410	2.8倍
親会社株主に帰属する 当期純利益	333	△18.5	1.4	550	64.7	2.2	260	3.4倍

- 米中摩擦や新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念など先行きの不透明感が残るものの、データ通信量増加に伴うデータセンター需要増によるロジック向け投資の継続に加えメモリ向け投資の回復により、半導体製造装置市場の拡大が予想され、増収を見込む。
- 利益は、受託製造事業の操業度改善が大きく寄与し増益を見込む。

3期ぶりの増収増益へ

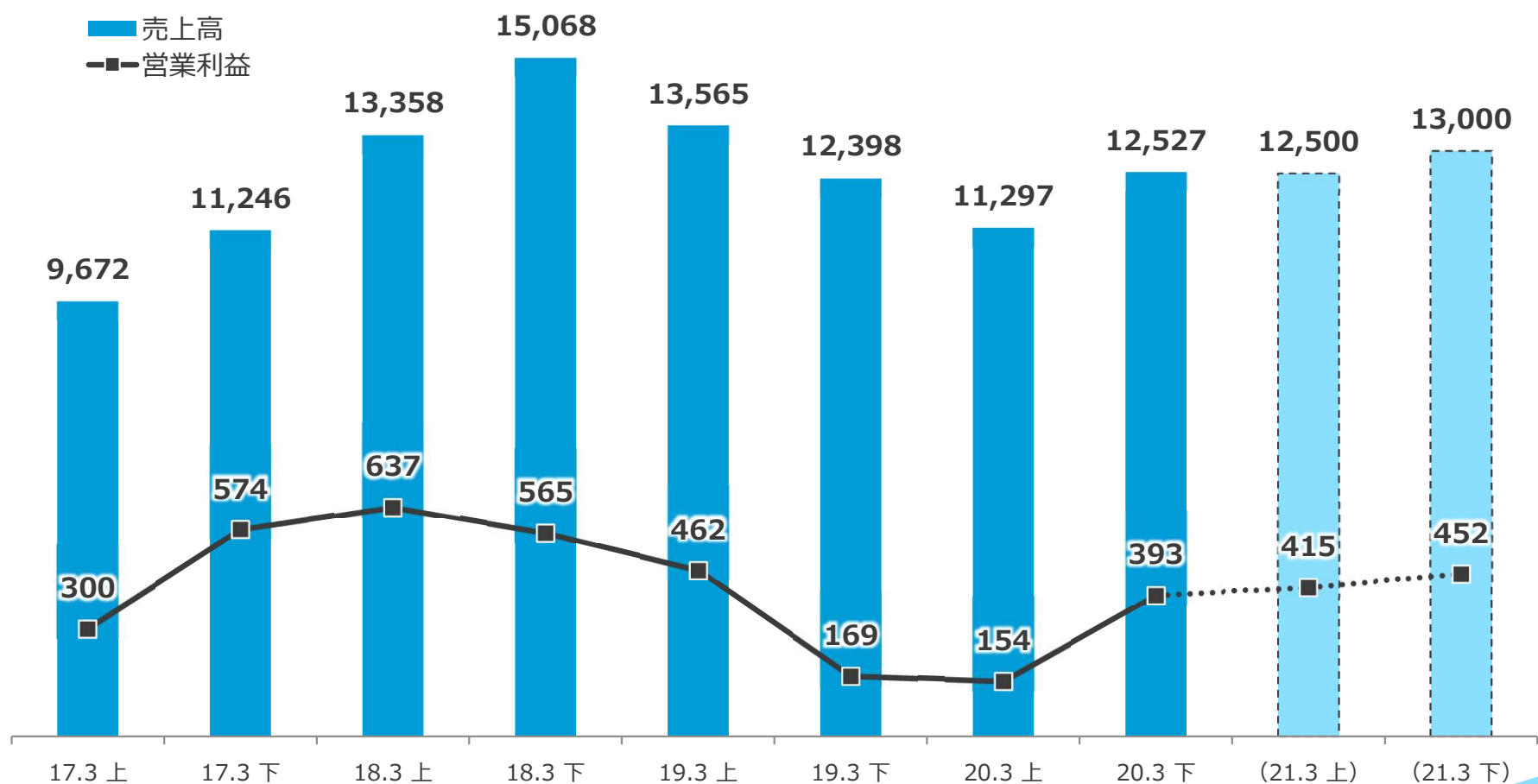
(百万円)



2Q以降、在庫調整の影響あるも、業績回復は続く見込み

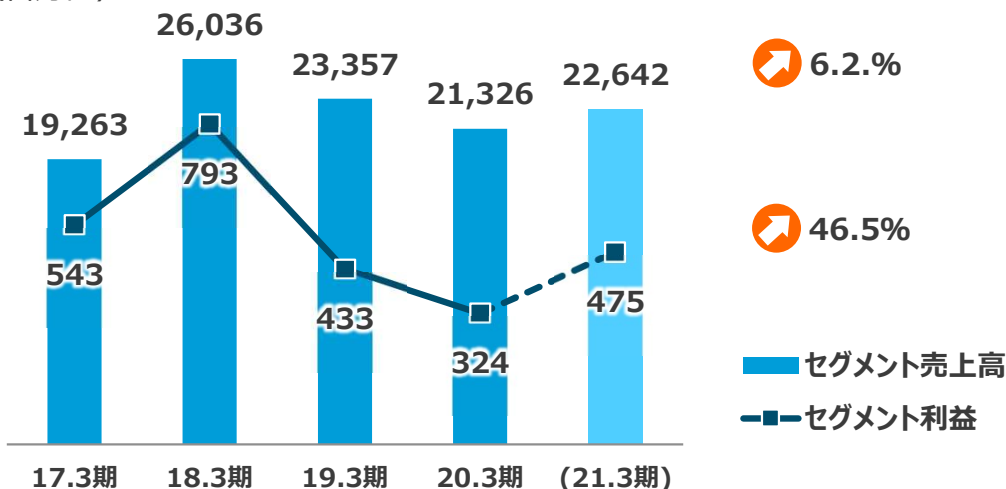
- 1Qの得意先による在庫確保の反動により、2Q以降に在庫調整を見込む。
- 2Qは新宮城物流センター完成に伴う一時費用等も重なり、売上・利益とも大きく落ち込むが、3Q以降は在庫調整が徐々に進展し、売上・利益とも徐々に回復を予想。

(百万円)



◆ 販売事業

(百万円)



セグメント売上高 前期比 6.2%

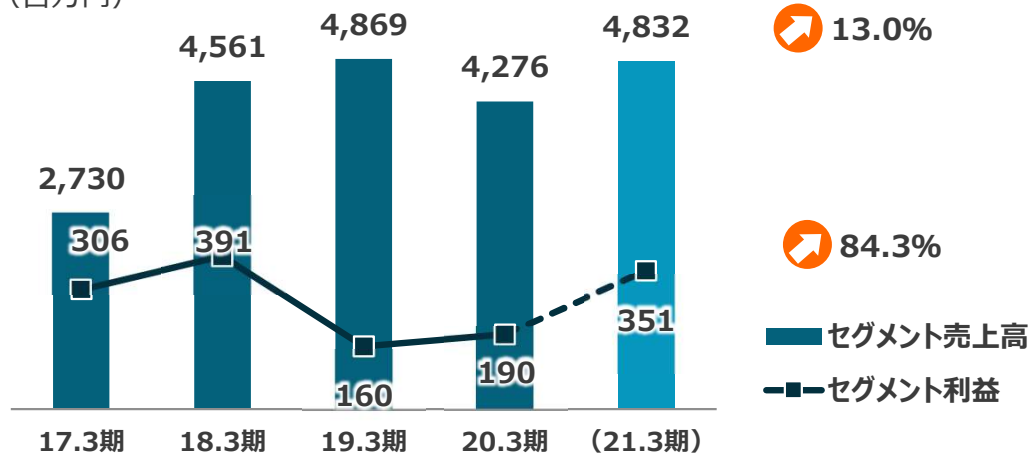
● 前期からのロジック投資堅調に加え、メモリ投資の回復を見込み、増収を予想。

セグメント利益 前期比 46.5%

● 売上増加及び業務効率化により利益増加を見込む。

◆ 受託製造事業

(百万円)



セグメント売上高 前期比 13.0%

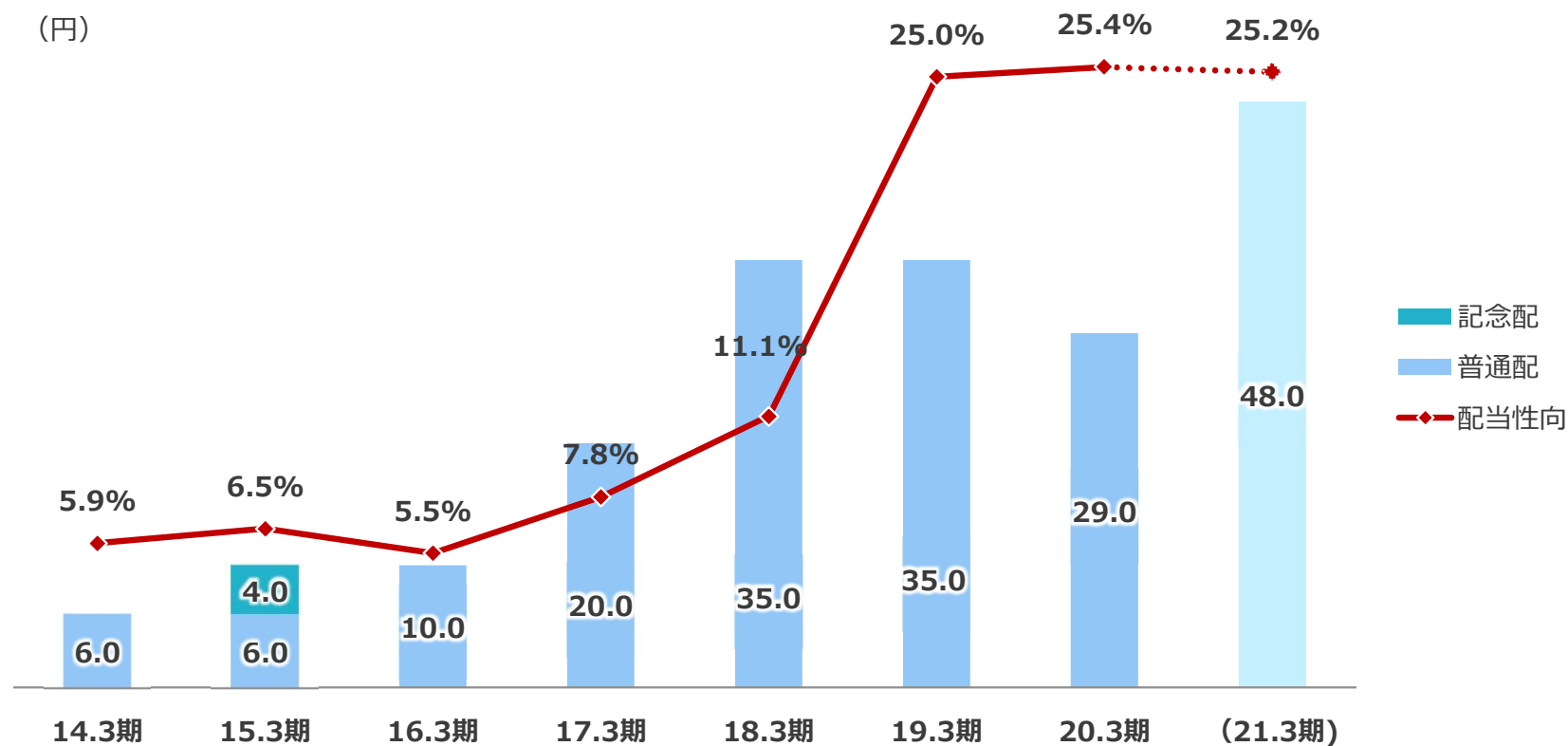
● 主要顧客からの堅調な受注により増加傾向。

セグメント利益 前期比 84.3%

● 損益分岐点操業度の改善により収益改善を見込む。

(注) 数字は連結調整前

今期は増配で上場来最高を予想 ～連結配当性向25%程度を基準～



(注) 配当金は、2016年10月1日付の株式併合2→1株を考慮して過去遡及した数値を記載。

本日はありがとうございました。

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、その実現・達成を保証、約束するものではなく、また、その情報の正確性、完全性を保証、約束するものではありません。
- 銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



『ものづくり』を支える

メカニカルソリューション

内外テック株式会社